

海外安全対策情報（2014年7月～9月）

1 社会・治安情勢

7月3日、ウガンダ西部3県（ブンディブジョ県：Bundibugyo, カセセ県：Kasese, ントロコ県：Ntoroko）において、警察官（署）等に対する襲撃事件が発生し、15日までに警察官及び民間人など93名が死亡しました。また、同時に多くの銃器が略奪されました。その後、同18日までに157名が自首し、警察は500名以上の被疑者を対象に事情聴取を行いました。なお、本襲撃事件は、バンバ族（バンバ王国）による勢力（規模）拡大を目的とした事件と見られています。

（1）ブンディブジョ県

ア ブンディブジョ警察署が襲撃され、警察官1名が死亡しサブマシンガン1本が略奪されました。その後、襲撃者はスタンビック銀行にて強盗行為を凶ったところ、警察が駆け付け襲撃者3名は殺害されました。

イ キルミヤ（Kirumiya）警察駐在所から小銃1本が窃取されました。

ウ バンバ宮殿（Bamba King Palace）で勤務していた警察官が襲撃され負傷し、小銃が略奪されました。

エ 野生動物保護施設からサブマシンガン2本が略奪されました。

オ 7月5日、カンヤミリマ（Kanyamirima）にてUPDF（ウガンダ軍：Uganda People's Defence Force）第39部隊が襲撃され、軍人1名及び襲撃者45名が死亡しました。

カ 7月5日、キキョ（Kikyō）警察駐在所からサブマシンガン1本が窃取されました。

（2）カセセ県

ア 7月5日、ビガンド（Bigando）にある軍人宅が襲撃され、家族及び民間人6名が殺害されました。

イ 7月5日午後3時頃、幹線道路で過積車両の取締りに従事していた警察官2名が襲撃され、1名が死亡もう1名が負傷しました。なお、2本のサブマシンガンが略奪されました。

（3）ントロコ県

ア キブク（Kibuku）にて、ブンディブジョ県へ向かっていたUPDFが襲撃され、1名が死亡しサブマシンガン1本が略奪されました（襲撃者3名死亡）。

イ カルグトゥ（Karugutu）警察署が襲撃され、警察官1名が負傷しサブマシンガン1本が略奪されました。

2 一般犯罪・凶悪犯罪

(1) 盗難・強盗事件

警察報道官は、首都カンパラにおいてスリやひったくり事件が多発していることから、市民に対し十分注意するよう呼びかけました。特に、クロックタワー周辺では、ストリートチルドレンによる窃盗事件が多発しており携帯電話、ネックレス、ハンドバック等が狙われています。また、渋滞中運転手にタイヤがパンクしていると呼びかけ降車させて襲撃する事件も発生しているため、運転中も安易に降車することのないよう助言しました。

○カンパラ県 (Kampala)

ア 8月15日午前7時過ぎ、宿泊先 (SABALIEN G・H) レストランで朝食を終えて自室へ戻った際、従業員から部屋の扉が開いていると聞かされ室内を確認したところ、貴重品および日用品が窃取されていました。

イ 8月25日午前8時30分頃、朝食の買い出しから宿泊先ホテル (SHUBHAM HOTEL) へ戻ったところ、旅行鞆一式が窃取されていました。10分足らずの外出であったため、犯人は被害者の行動を確認したうえで犯行に及んだものと思料されます。

ウ 9月3日、盗難に遭っていたケニア大統領の警護車両がワンデゲヤ (Wandegeya) で発見され、4日ケニアへ引き渡されました。

○カバレ県 (Kabale)

8月10日午前6時30分頃、ブンヨイ湖 (Lake Bunyonyi) からカバレ市内へ向かっていた車両が武装集団に襲撃されました。運転手及び観光客は銃撃され重傷を負いカメラ、iPad、現金等が強奪されました。

○ワキソ県 (Wakiso)

8月21日午後9時頃、武装した7人組 (男6名女1名) がブウェバジャ村 (Bwebajja) にある12の家を襲撃し、家具等を窃取し逃走しました。なお、この襲撃事件により1名死亡、9名が負傷しました。

○キリヤンドンゴ県 (Kiryandongo)

8月27日午前1時頃、カンパラ・グルハイウェー (キグンバ: Kigumba) にて、KKコーチバスが6人組の武装集団に襲撃されました。6人組は乗客50名から1,500万シリング (約60万円) 及び携帯電話等を強奪しました。6人組は軍服を着用し、サブマシンガン2本と拳銃を所持し犯行におよびました。

○ヌオヤ県 (Nwoya)

9月4日新聞報道によると、アルア県 (Arua) からカンパラ県 (Kampala) へ向かっていたカリフォルニア・トラベラーズバスが8人組の武装集団に襲撃されました。8人組は乗客64名から8,500万シリング (約340万円) を強奪しました。7人は軍服を残る1名は交通警察官の制服を着用し、AK-47とサブマシン

ガンを武装して犯行におよびました。

(2) 殺人事件

○カバレ県 (Kabale)

8月4日午前4時頃、「Lettie Ritz Hotel」に武装した4人組が襲撃し、従業員1名を射殺して逃走しました。武装集団は従業員から宿泊客の部屋番号を聞き出そうとしましたが、従業員が拒んだため射殺した模様です。

○カンパラ県 (Kampala)

9月6日、「Gazaland shopping mall」にて女性がネックレスを引ったくられ犯人を追いかけたところ、犯人に首を絞められ殺害されました。

(3) 強姦事件

○マユゲ県 (Mayuge)

8月3日、7歳女児の死体が発見されました。この女児は、7月31日の下校途中から行方不明になっており、強姦された後に殺害されたことが判明しました。その後、男性1人が強姦殺人の容疑で逮捕されました。

○マサカ県 (Masaka)

8月8日夜、23歳女性の死体が宿泊施設(ロッジ)で発見されました。この女性は、男性3人組と一緒にチェックインしており、強姦された後に殺害されたことが判明しました。その後、男性3人組は強姦殺人の容疑で逮捕されました。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。しかし、当地米国大使館は、7月3日にエンテベ国際空港を標的とした具体的なテロ計画情報を入手したとして、自国民に対し同空港へ近づかないよう注意を促すなど、ウガンダではテロの脅威が潜在しているため、引き続き警戒する必要があります。

○7月3日 ウガンダ：テロの脅威に関する注意喚起

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?id={%countrycd%}&infocode=2014C236>

○9月9日 東アフリカ地域：ソマリアのイスラム過激派組織によるテロの脅威に伴う注意喚起

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2014C317>

○9月24日 渡航情報(広域情報)：イスラム過激派組織による脅迫メッセージ発出に伴う注意喚起

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2014C335>

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件は発生していません。しかし、近年ウガンダにおいても身代金を目的とした誘拐事件が発生しています。現在まで日本人が誘拐されるような事件は発生していませんが、現地人(アフリカ諸国)からすれば日本人は裕福に見られ標的となり得る可能性も否定できないため、滞在中は警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情が良好なこともあり、日本企業であることを理由に標的とされる可能性は低いです。

以上